

東京生まれの新しいワケネギ

「東京小町」誕生

東京都農林総合研究センターは、東京オリジナル品種の育成や生産性を高める栽培技術など、生産者や都民の暮らしに役立つ試験研究に取り組んでいます。このたび、ワケネギ※の新品種「東京小町」が平成29年2月に農林水産省に品種登録(登録番号25596号)されましたので、お知らせします。

当センターでは、“夏の暑さに強い・抽だい(ネギ坊主の発生)が少ない・品質がよい”品種を開発するために、平成4年に「在来系統」と「夏用系統」を交配し、20年余の歳月をかけて選抜を繰り返して新しいワケネギを育成しました。

今後、一部農家で試験栽培を開始し、都内各地での生産を増やしていく予定です。

多くの都民の皆様にも味わっていただける東京の新しいブランド野菜を目指していきます。

※ワケネギとは

緑葉部を利用する葉ネギ(青ネギ)の仲間です。株元からわき芽が次々とする性質が強く、1株が数本から数十本となります。

【東京小町の特徴】

- 年間を通じて栽培・出荷ができます。
- 抽だいが少ないため、商品化率が高くなります。
- 草丈は60cm程度とコンパクトで葉折れが少なく、緑葉部は肉厚・柔らかいです。



「東京小町」(左)は在来系統(右)にくらべ、抽だいが少ない。



「東京小町」は、緑と白のバランスが美しく、畑でのシャキッとした立ち姿から命名しました。

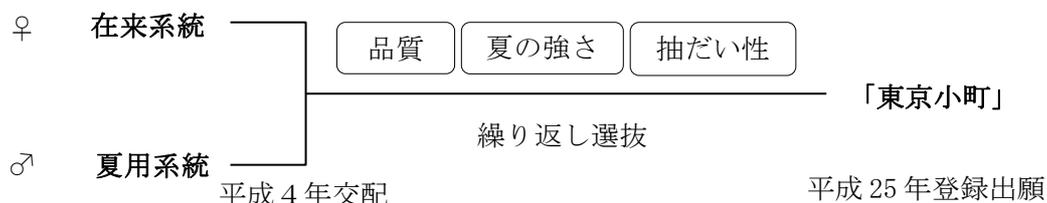
<お問い合わせ>

(公財)東京都農林水産振興財団 東京都農林総合研究センター 園芸技術科 益永・野口 電話 042-528-1394

【参考】

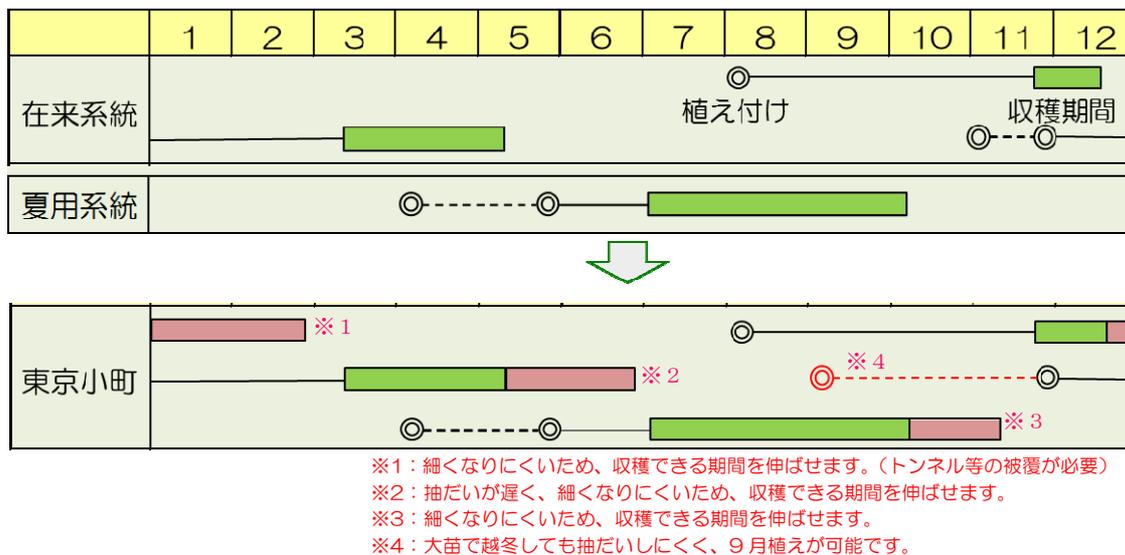
〔育成経過〕

平成4年に、品質の優れる「在来系統」を母親、夏の暑さに強い「夏用系統」を花粉親として交配し、翌年から“抽だいが少なく、品質が優れ、夏の暑さに強い”系統を育種目標に系統選抜を繰り返しました。平成25年にこの目標を達成した1系統を選定し「東京小町」として品種登録出願し、このたび新品種として登録されました。



〔栽培例〕

これまで、露地栽培で周年供給するためには、栽培時期に応じて品種を使い分けてきましたが、「東京小町」は1品種で年間を通じて栽培・出荷ができます。



〔外観特性〕

草丈は60cm程度とコンパクトで、葉折れの発生も少なくなります。



左「東京小町」、中「在来系統」、
右「夏用系統」
(平成25年9月11日撮影)

左「東京小町」、右「在来系統」
撮影日までの5日間、強風の日が続いた
(平成27年7月18日撮影)